

令和4年度事業報告書

1. 事業に関する事項

市民の共有財産である相模湾沿岸の海岸が広く市民に親しまれる憩いの場となるよう積極的に海岸環境の保全等に取り組むと共に漁業生産の場として広く活用されている相模湾沿岸の水産業の振興に寄与するため事業計画に基づき実施した。

各事業の実施状況は次のとおりである。

(1) 環境保全事業（定款・第4条・第1項・第1号関係）

① 海岸環境美化事業 ～海岸清掃のボランティア活動の推進

ア. 6月12日（日）荒崎海岸クリーンフェスタ2022初夏

市内外から約130人の人が参加し、荒崎海岸（なんやの浜）のごみ拾いとヒラメの放流（5,000尾）、マイクロチップによる汚染状況調査を行った。

イ. 7月29日（金）富浦公園前海浜清掃活動

富浦公園前の干潟を守るため、横須賀市と共催で、長井中学校教諭と生徒（57名）も参加して、アオサ清掃とごみ収集を行った。

ウ. 10月9日（日）荒崎海岸クリーンフェスタ2022秋

市内外から約100人の人が参加し、荒崎海岸（なんやの浜）のごみ拾いとカサゴの放流（8,000尾）、マイクロチップによる汚染状況調査を行った。

※ 上記3事業に、飲み物、ゴミ袋、軍手、ポケットティッシュなどを提供した。

エ. 西地区町内会・自治会へゴミ袋（45ℓ）等の配布

海岸ごみの70%は陸上のごみが水路や河川を通して集まることから、街のごみ清掃にも支援することとし、長井及び大楠地区のクリーンよこすか活動にゴミ袋（45ℓ）と軍手、啓発パンフレットを配布した。

② 海岸環境保全事業 ～海浜の清掃活動費の援助

「令和4年度水産振興事業助成金」を長井町漁協と横須賀市大楠漁協に交付した。

第3回理事会において、横須賀市の相模湾沿岸海域における良好な海岸清掃の保全のため、海岸清掃活動費に対して助成金の交付を決定した。

(履行期間) 令和4年9月1日～令和5年2月28日

(交付金額) 各漁協 600,000円

(業務内容) 海岸の一斉清掃活動を通じて、海洋汚染物等の収集、運搬、処理を行い、快適な海岸環境の保全に努めた。

(2) 調査研究・保護培養事業 (定款・第4条・第1項・第2号関係)

① 水産物の調査研究事業

ア. 「令和4年度小田和湾大楠地区藻場状況撮影委託」をアジア航測(株)と契約した。

(履行期間) 令和5年1月23日～令和5年3月31日

(契約金額) 495,000円

(業務内容) 大楠地区において、過去に藻場が分布していた地点を潜水士により水中ビデオ撮影し、現状について動画及び報告書を作成した。

(1) 水中ビデオ撮影 3測線 (1測線の延長100m) 1回、1地点スポット 1回

(2) 調査地点 4か所 水深約10m以浅

① 久留和漁港、② 秋谷、③ 笠島、④ ホソ根 (緑灯台下)

(3) 成果品 撮影データの動画作成 (DVD 2本)、報告書 2部

(4) 調査結果

① 久留和漁港：大型海藻のワカメ (全長5～30cm) を観察した。ムラサキウニとタワシウニを約180個観察した。

② 秋谷：大型海藻のワカメ (全長5～40cm) とカジメ (約60cm) を観察した。ガンガゼとムラサキウニを約10個観察した。

③ 笠島：大型海藻は観察されなかった。ガンガゼ約8個観察した。

④ ホソ根：大型海藻のワカメ (全長5～40cm)、カジメ (約40cm)、ヨレモクモドキ (約20cm) を観察した。ガンガゼとムラサキウニを約10個観察した。食害と思われる葉部が欠損したカジメを3か所で観察した。

イ.「令和4年度水産物の調査・研究事業助成金」を長井町漁協と横須賀市大楠漁協に交付した。

第3回理事会において、横須賀市の相模湾沿岸の水産振興及び経営の安定に資するため、水産物の調査・研究を行う者に対して、助成金の交付を決定した。

(履行期間) 令和4年9月1日～令和5年3月25日

(交付金額) 各漁協 250,000円

(履行内容)

- ・長井町漁協は、平成29年度からワカメ養殖を安定的に行うため、アイゴ対策として耐久性のある網を作成し張ることで、成果があり収穫量が増加した。4年度は、昨年作製したトラップの改良と使用する餌の研究を行った。
- ・横須賀市大楠漁協は、2年度からナマコ類育成を目的としているが、諸般の事情により種苗購入が困難なため、モニタリング調査とつき磯設置等を行い増養殖を図った。新たな漁業振興につなげていくために調査研究を行った。

エ. アサリ調査について

令和4年度小田和湾藻場保全調査の中で横須賀市に協力して作業に参加した。長井のアサリ調査作業に計8回参加した。

5/17、6/14、7/12、9/13、10/7、12/9、2/10、3/7

② 水産物の保護培養事業

<放流事業>

No.	実施日	種類	放流数	放流場所	購入先
1	5/17	トラフグ	10,000 尾	小田和湾沖合	県栽培漁業協会 (サザエ) 県水産技術センター
2	5/31	ハマグリ	16,977 個	秋谷海岸	
3	6/21	サザエ	6,000 個	長井漁港沖合	
4	7/12	マダイ	8,000 尾	佐島漁港内	
5	7/19	ヒラメ	8,500 尾	井尻港岸壁及び佐島漁港岸壁	
6	10/4	サザエ	6,000 個	佐島漁港沖合	
7	10/11	カサゴ	4,000 尾	長井新宿漁港岸壁	

8	2/10	アワビ	1,000 個	長井漁港沖合	
9	2/14	アワビ	1,500 個	佐島漁港沖合	

(3) 研修事業（定款・第4条-第1項-第4号関係）

① 研修会開催事業

ア. 両漁協関係者を対象に水中ドローンの操作体験と藻場の現状（磯焼け）他について研修を実施した。

日 時 令和5年1月31日（火）9時～11時

参加者 漁協関係者8人、関係者7人 計15人

講 師 （株）マリン・ワーク・ジャパン

内 容 佐島漁港沖合にて、水中ドローンを実際に操作して、大楠地区における磯焼けの状況と以前設置した漁礁（H25.6設置、□2m）の現況を調査した。

藻場の現状（磯焼け）等を動画にて保存した。

(4) 広報事業（定款・第4条-第1項-第5号関係）

① 広報紙作成事業

当事業団の事業活動状況や地域の水産関連等の情報を提供し、水産振興について幅広く市民に理解を深めてもらうため、広報紙「西部水産振興だより」第49号を9月に、第50号を3月に作成し配布した。

・発行部数 49号 3,000部、50号 2,500部（無料配布）

・テーマ（1面記事）

49号 野島海岸におけるアマモ場再生の取組み（成功事例紹介）

50号 海環境の再生に向けた市民団体の取組み～海に森をつくろうよ！PROJECT～

・配布先 地元大楠、長井、武山地区の44町内会と自治会、各学校、各自治体、関係団体、他の水産振興事業団ほか

(5) 経営安定事業（定款・第4条-第1項-第3号関係）

① 漁業経営資金等助成事業

「令和4年度経営安定事業に係る漁業経営資金等助成金」を長井町漁協と横須賀市大楠漁協に交付した。

第3回理事会において、横須賀市の相模湾沿岸海域における漁業生産力の向上と水産物の安定供給に寄与するため、漁業協同組合の経営

基盤の強化と漁業経営の安定化を図るために融資を受けたものに対して、その返済のために助成金の交付を決定した。

- 長井町漁業協同組合 助成額：4,000,000 円（9 月 2 日支出）
- 横須賀市大楠漁業協同組合 助成額：4,000,000 円（9 月 6 日支出）